

2022年8月19日

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

また、対象となる患者さんで研究参加を拒否したいと思われた方も、以下の「問い合わせ先」までご連絡下さい。その際には、研究の対象とはしないように致します。

[研究課題名] 人工膝関節置換術後の自主的な可動域訓練方法の効果の検討

[研究機関] 帯広厚生病院医療技術部理学療法技術科

[研究責任者] 宮崎 啓史（理学療法士）

[研究の目的] 人工膝関節全置換術（以下、TKA）の術後関節可動域訓練として用いられる持続的関節他動訓練器（以下、CPM）は従来、膝関節の可動域拡大を目的に使用されてきました。しかし、十分な効果を得ることができないと報告しているものが散見されています。本研究は、当院TKA後の可動域訓練の方法に関して検討し、今後の良い治療につなげることを目的にしています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん：2020年4月から2022年8月までに当院にてTKAを施行し、手術後リハビリを要した患者様を対象としております。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、体重、重症度、身体指標（膝関節可動域、筋力、歩行速度、痛み）、日常生活指標（歩行状況、在院日数、アンケート結果）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

JA北海道厚生連 帯広厚生病院 北海道帯広市西14条南10丁目1番地 電話 0155-65-0101
医療技術部 理学療法技術科 理学療法士 宮崎啓史